

GoogleマップAPIキーの登録について

地図から探すなど高度な機能を利用する場合のみ、GoogleマップAPIキーの登録が必要になります。

通常利用時は登録の必要はございません。

登録の手順を記載しておりますが、Google管理画面への設定作業やクレジットカードの登録が必要になりますので、**手順を十分ご確認いただきご自身で設定**いただく必要があります。

設定内容は自己責任となりますので、サポートが必要な場合は有料対応となります。

APIキーの登録が必要な機能

以下の機能をご利用されたい場合は、APIキーの登録が必要になります。

地図から探す

売買物件検索

種別から探す 新築一戸建て 中古一戸建て マンション 土地

エリアから探す 真砂 真砂本町 鴨池 与次郎 鴨池新町 郡元
 東郡元 荒田 下荒田

沿線から探す 地図から探す 学校区から探す

売買戸建物件一覧

地図から探す 地図で表示

地図上の該当件数 14 件



物件種別
一戸建て(14) リフォーム(0)

築年
10年未満(0) 11~20年(2) 21~30年(0) 31~40年(0) 41~50年(0) 51~60年(0) 61~70年(0) 71~80年(0) 81~90年(0) 91~100年(0) 100年以上(0)

価格
500万円未満(0) 501~1000万円(0) 1001~1500万円(0) 1501~2000万円(0) 2001~2500万円(0) 2501~3000万円(0) 3001~3500万円(0) 3501~4000万円(0) 4001~4500万円(0) 4501~5000万円(0) 5001~5500万円(0) 5501~6000万円(0) 6001~6500万円(0) 6501~7000万円(0) 7001~7500万円(0) 7501~8000万円(0) 8001~8500万円(0) 8501~9000万円(0) 9001~9500万円(0) 9501~1亿円(0) 1亿円以上(0)

トップページ等のバナーや物件一覧のバナーからリンクされる「地図から探す」機能につきましては、ご利用される場合はAPIキーの登録が必要になります。

ストリートビュー



APIキーを登録すると、ストリートビューが利用できるようになります。



※Googleマップは数年前に有料化されました。

地図の表示回数に応じて料金が発生する「従量課金」の仕様となりました。

Googleマップの高度な機能を利用するにはAPIキーの発行が必要で、Googleに対しクレジットカード登録が必須となっております。

月2万円分（約28,000回表示分）の無料枠がございますので、実質無料でご利用いただけます。

- ・Googleマップの料金について

<https://cloud.google.com/maps-platform/pricing/sheet/?hl=ja>

高度な機能ご利用を希望される店舗様は、次ページ以降の手順にて、ご自身でAPIキーのご登録をお願いいたします。

APIキーの登録方法

「地図から探す」をご利用されたい店舗様は、以下の手順にてAPIキーの登録をお願いいたします。

1. Google Cloud PlatformでのAPIキー発行
2. 課金の有効化
3. 不動産クラウドオフィスへのAPIキー設定

Google Cloud PlatformでのAPIキー発行

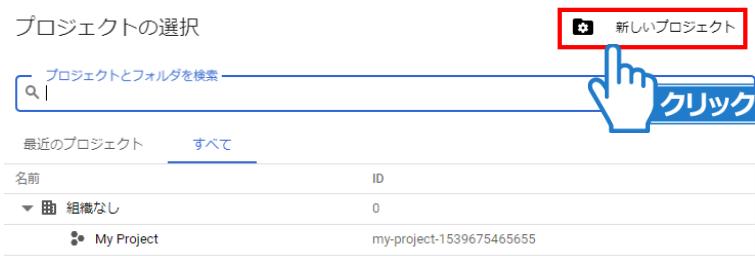
<https://console.cloud.google.com/?hl=ja> にアクセスします。



今後、永続的に使用するAPIキーを発行しますので、個人のGoogleアカウントではなく、**会社の代表Googleアカウント**などでログインしてください。

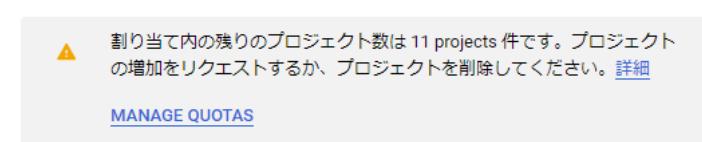


プロジェクトの選択をクリックします。



新しいプロジェクトをクリックします。

新しいプロジェクト



任意のプロジェクト名を入力し、作成をクリックします。

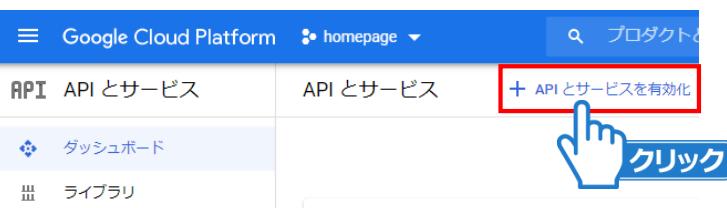
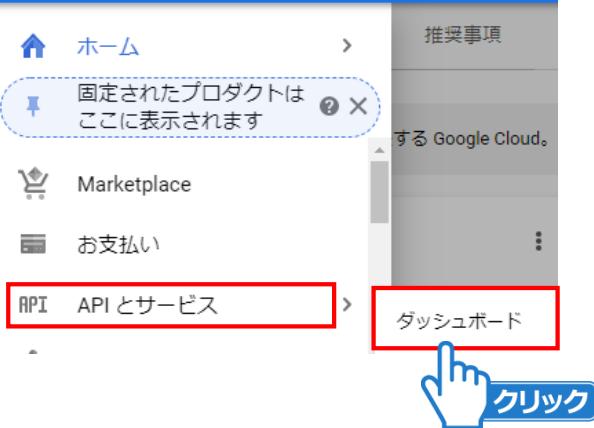


プロジェクト名は初期値でも問題ありません。



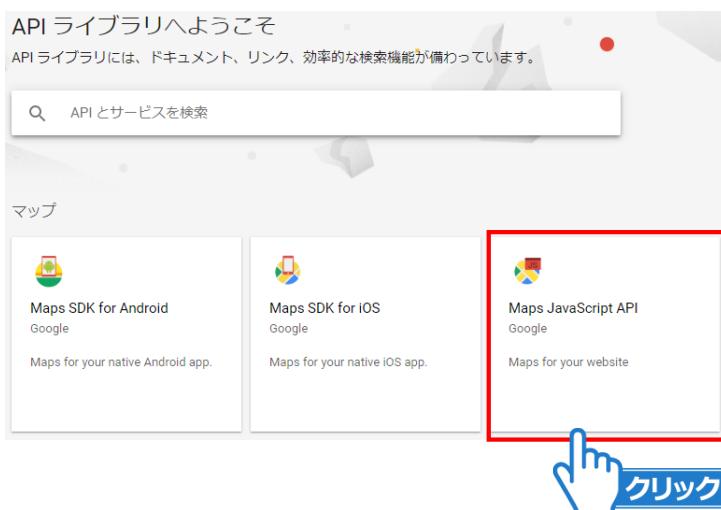
プロジェクトが作成されたら、「表示」をクリックします。

メニューバーから「APIとサービス」→
「ダッシュボード」をクリックします。



以下のAPIを**全て**有効にします。

- Maps Javascript API
- Maps Static API
- Places API



「APIとサービスを有効化」をクリックします。

「Maps JavaScript API」などをクリックします。
一覧に表示されていない場合は、検索欄で検索します。

Maps JavaScript API

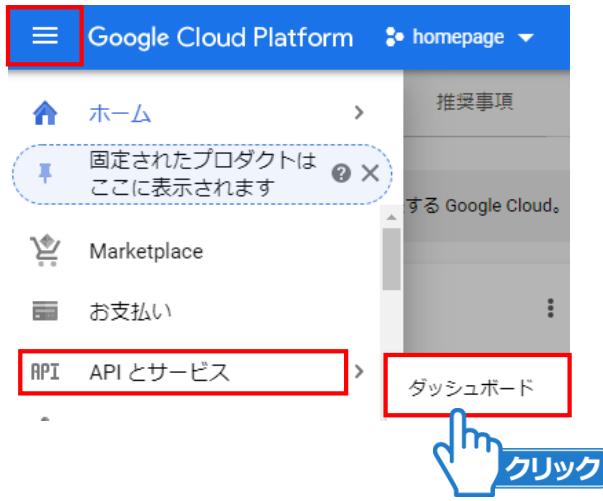
Google

Maps for your website

有効にする



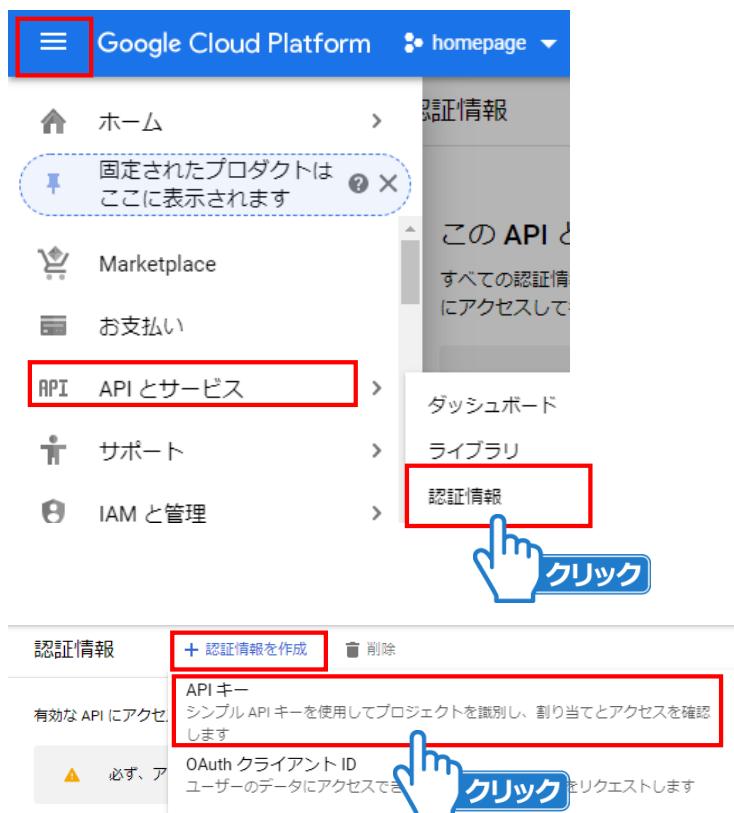
「有効にする」をクリックします。



この処理を繰り返し、3つのAPIを有効にします。

メニューバーから「APIとサービス」→「ダッシュボード」をクリックし、「APIとサービスを有効化」をクリックしてAPIを選択します。

APIキーの作成



メニューバーから「APIとサービス」→「認証情報」をクリックします。

「認証情報を作成」→「APIキー」をクリックします。



APIキーが作成されますので、コピーボタンをクリックし、一旦メモ帳などのエディターに張り付けておきます。

不正利用されないよう、「キーを制限」をクリックします。

名前 *
API キー 1

キーの制限

⚠ このキーに制限はありません。制限すると、不正使用や割り当ての盗用を防止できます。[詳細](#)

アプリケーションの制限

アプリケーションの制限では、API キーを使用できるウェブサイト、IP アドレス、アプリケーションを制御できます。アプリケーションの制限はキーごとに 1 つ設定できます。

- なし
- HTTP リファラー（ウェブサイト）
- IP アドレス（ウェブサーバー、cron ジョブなど）
- Android アプリ
- iOS アプリ

ウェブサイトの制限

キー使用のリクエストを、指定したウェブサイトに制限します。

⚠ 空白のままにすると、API キーはすべてのウェブサイトからリクエストを受け取れます。

項目を追加

新しいアイテム

リファラー *

キャンセル

API の制限

API 制限は、このキーで呼び出すことのできる有効な API を指定します

- キーを制限しない
このキーは任意の API を呼び出すことができます
- キーを制限

注: 設定が有効になるまで、最大で 5 分かかることがあります

保存 キャンセル
 クリック

「HTTPリファラー」を選択します。
ウェブサイトの制限でホームページのアドレスを入力します。

例) example.com の場合
example.com/*

例) www.example.com の場合
www.example.com/*

※リファラーを間違えると地図が正しく動作しません。

よくある間違いは、
・* が大文字になっている
・/ の前後に空白が入っている

※www有無は間違えないよう「ホームページ」メニューでご確認ください。



<https://example.com/>



課金の有効化

Googleに対しクレジットカードを登録し、課金を有効化します。
十分な無料枠がありますので、実質無料でご利用いただけます。

Google Cloud Platform homepage

メニューバーの「お支払い」をクリックします。

ホーム Marketplace お支払い

固定されたプロダクトは
ここに表示されます

このプロジェクトには請求先アカウントが
ありません

このプロジェクトは請求先アカウントにリンクされていません

請求先アカウントをリンク 請求先アカウントを管理

クリック

メニューバーの「お支払い」をクリックします。

プロジェクト「homepage」の課金を有効にする

請求先アカウントの管理者に指定されていません。このプロジェクトで課金を有効にするには、請求先アカウントを新規作成するか、請求先アカウントの管理者に、課金を有効化するよう依頼してください。[詳細](#)

キャンセル 請求先アカウントを作成

クリック

「請求先アカウントをリンク」→「請求先アカウントを作成」をクリックします。

ステップ 1/2

SESH 株式会社 sesh@gmail.com

アカウントを切り替える

国

日本

利用規約

[Google Cloud Platform 無料トライアルの利用規約](#)を読んだうえで内容に同意します。

続行するには [はい] を選択する必要があります

「続行」をクリックします。

続行

クリック

ステップ 2/2

お客様情報

アカウントの種類 ①

ビジネス

名前と住所 ①

郵便番号

①

都道府県

▼

市区郡

無料トライアルを開始



ようこそ、SESH さん

無料トライアルには、12か月間有効の \$300 分のクレジットが含まれています。4個の質問にご回答ください。Google のサービスの改善に活用させていただきます。

保存

スキップ

住所情報、クレジットカード情報を入力し、「無料トライアルを開始」をクリックします。

ようこそ〇〇さんと表示されれば成功です。

「スキップ」をクリックします。

The screenshot shows the Google Cloud Platform dashboard. The navigation bar at the top has several items: 'Google Cloud Platform' (with a red box around the three-dot menu icon), 'ホーム', '概要' (highlighted with a red box), '請求', '固定されたプロダクトはここに表示されます' (with a red box around the 'X' icon), 'Marketplace', 'お支払い' (highlighted with a red box), and 'API API とサービス'. A tooltip for 'お支払い' says '請求アカウントの概要'.

メニューバーの「お支払い」→「概要」をクリックします。

無料トライアルのクレジット



12ヶ月間の無料トライアル後に無効にならないよう、あらかじめ有効化します。画面右下の「アップグレード」ボタンをクリックします。

無料トライアル期間中、料金は請求されません。無料トライアル期間の終了後にプロジェクトの実行を継続するには、有料アカウントにアップグレードしてください。

アップグレード

詳細



アカウントのアップグレード

Google Cloud Platform を制限なしで使えるようになるまであと一歩です。

無料のクレジットを使い切るかクレジットが期限切れになるまで、請求は行われません。[詳細](#)

請求は使用したプロダクトに限られます。[料金の詳細を表示](#)

「アップグレード」をクリックします。



※Googleから毎月メールで請求書が届きます。

無料枠があるため、請求金額は0円となっています。

請求が発生していない事をご確認ください。

不動産クラウドオフィスへのAPIキー設定



不動産クラウドオフィスにログインし、「ホームページ」をクリックします。

ホームページ運用 デザイン・ページ アクセス解析

「地図から探す」をご利用される場合は、GoogleマップAPIキーの登録が必要です。

[APIキーの登録について](#)

[登録する](#)



— サイト管理
メンテナス設定
会員登録設定
利用規約・プライバシーポリシー
会員限定物件設定
その他設定



GoogleMap設定

[GoogleMap設定](#)



ホームページトップの「登録する」、または左下の「その他設定」をクリックします。

「GoogleMap設定」をクリックします。

GoogleMap設定

[戻る](#) [保存](#)

APIキー

メモ帳などに保存しておいたAPIキーを入力し保存します。



物件ページなどにGoogleマップが表示される事を確認します。

右側にストリートビューが表示されます。

よくあるご質問

Q. APIキーの登録は必須でしょうか？

A. 「地図から探す」をご利用されたい店舗様は登録必須です。

登録されなくとも基本的な地図機能はご利用いただけます。

「地図から探す」をご利用されない店舗様は、APIキーの登録は不要です。

Q. クレジットカードの登録は必須でしょうか？

A. APIキーを登録される場合は、Googleに対しクレジットカードの登録が必須となります。

Q. 勝手に課金されないか心配です

A. 月2万円（約28,000回表示分）の無料枠がありますので、相当数のアクセスがない限りは、課金される事はございません。

アクセス数が非常に多い店舗様は、Googleの管理画面にて利用状況をご確認ください。

Q. APIキーを代わりに登録してもらえませんか？

A. ご自身のGoogleアカウントやクレジットカード情報が必要になりますので、登録代行は行っておりません。

ご自身でご登録をお願いいたします。

Q. APIキーを設定しましたが、地図が表示されません

A. APIキーの設定に不備がございます。

リファラーの設定が正しく行われているか、クレジットカードの登録は正しく行われているかなど、再度この資料を読み直し、手順をご確認ください。